

留 学 報 告 書

記入日:2020年12月11日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ニューサウスウェールズ大学 現地言語: University of New South Wales
留学期間	2020年2月～2020年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Art & Design <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年7月3日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:2月中旬～5月中旬 2学期:6月上旬～8月下旬 3学期:9月中旬～12月上旬 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	59,000人以上
創立年	1949

留学費用項目	現地通貨 (オーストラリアドル)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	11,165	813,312円	
食費		円	宿舍費に含む
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	176	25,194円	月45AUD(約3,375円)
現地交通費	210	14,835円	Opalカードへのチャージ合計金額(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		約20,000円	感染拡大で日本から送れなくなってしまったことによる出費
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		152,337円	
ビザ申請費	620	46,500円	
雑費	419	28,857円	
その他		27,196円	コンタクトレンズ
その他		円	
合計		円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:東京(羽田) 目的地:シドニー 経由地:ケアンズ 復路 出発地:シドニー 目的地:東京(羽田) 経由地:	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ジェットスター航空 料金:84,106 円 復路 航空会社:ANA 料金:68,231 円 ∴合計:152,337 円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: _____) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Shalom College) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
インターネット	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
大学の寮といっても様々な寮がありますが、2月にあるオリエンテーションでは新入生を歓迎する伝統文化が各寮にあり、寮によっては、太陽も上がっていないような早朝に1週間毎日整列して走らされたり、その他体力を使うドッキリを仕掛けられたりするので、思い出にはなるし親睦も一気に深まりますが、自分の性格や目的を考えて、寮選びは慎重にした方がいいと思います。料理も寮によって様々で、美味しいと有名どころも、美味しいと有名だけれど寮の宗教が理由で全く豚肉やいくつかの魚介類が出ないところもあるので、そこもしっかり調べておくことをお勧めします。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
実際に盗難等の被害は受けませんでしたが、大学のオリエンテーションで夜道の危険性や防犯対策についての説明がありました。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
寮と大学の Wi-Fi は問題なく使えていました。カフェや交通機関ならどこでも Wi-Fi が使えるということはなかったため、外で使っていたのは基本的に SIM カードです。大学のオリエンテーションで携帯電話会社のブースがあり、そのキャンペーンで月 45 AUD で 60 GB 使える SIM カードを購入することができたのは良かったです。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
周りの留学生たちはオーストラリアの口座を開設している人が多かったのですが、私は日本でも現地でも使えるクレジットカード兼キャッシュカードと、デビットカード兼キャッシュカードの2枚を使用していました。キャッシュは日本の空港でとりあえず両替しておいた分のみを使用しました。	

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。 現地の化粧品で肌に合うものが少なかったのですが、日本のスーパーがあるので問題ありませんでした。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 6 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 実技は履修できませんでした	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Histories of Contemporary Art: Part 1	現代アートの歴史:パート1
科目設置学部・研究科	Art & Design
履修期間	Term 1 (2月中旬～5月中旬)
単位数	6
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90(講義)+120(チュートリアル)分が各1回
担当教授	Tim Gregory
授業内容	このコースは、現代アートにおける主なテーマを知るための、歴史とコンテキストを扱います。現代アートと視覚文化の背景にある交差した歴史を突き止めるため、アートの歴史へのテーマ別のアプローチを行い、異なる文化、学問、そして時代を超えてアーティストたちが用いた様々な反応や戦略を学びます。主に 19 世紀後半から 1960 年代に焦点が当てられ、形式的かつ批判的な視覚分析、芸術理論、そして哲学が、ここではより深いアートの理解のためのツールです。学術的調査力、読書力、そして筆記力を伸ばすアクティビティを通して、現代アートの歴史的知識を得ることができます。
試験・課題など	レポート課題
感想を自由記入	この授業の講義は本当に毎週楽しみでした。現代アートの歴史を毎週異なるジャンルの視点で学べるのは自分の留学の目的に非常に合っていてとても嬉しかったし、勉強になりました。チュートリアルではディスカッションがメインで、そのための読書課題が毎週出のですが、現地の正規学生でさえ「難しく読めない」と言うレベルのものもありました。私にとってはどれが難しくどれが難しくないのかが分からないため、難しい時はすごく不安になったり、総じて読み終えるのにすごく時間がかかりました。しかし、寮の友達に手伝ってもらったり、先生にメールで質問をすることができたので、そこはすごく助かったと思います。最終週にレポート課題が課されましたが、私が滞在していた寮にはアカデミックチューターがいたので、その方に英語を見てもらい、安心して提出することができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Theories of Art History and Culture		アートの歴史と文化における理論	
科目設置学部・研究科	Art & Design		
履修期間	Term 1 (2月中旬～5月中旬)		
単位数	6		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60(講義)+180(チュートリアル)分が各1回		
担当教授	Veronica Tello		
授業内容	このコースでは、近代におけるアートの歴史と文化の学問にて主に扱われる理論と方法を学びました。扱う分野には、形式主義、マルクス主義/新マルクス主義、構造主義と記号論、ポスト構造主義、フェミニズム、精神分析学とポスト植民地主義、文化学とメディア・アートへのアプローチが含まれます。		
試験・課題など	筆記テスト+プレゼンテーション		
感想を自由記入	この授業でも読書課題が大変でしたが、先生がとにかく優しい方だったので毎週授業が楽しみでした。授業内で行われた筆記テストでは添削が無いので緊張しましたが、予習をすればしっかりと回答できるものだったのでなんとか良い結果を出すことができました。プレゼンテーションでは、学生たちが様々な理論や主義とそれに当てはまる作品を担当して、その概要を約 10 分でプレゼンするという課題でした。私は最終週に Ecocriticism を担当したのですが、理論や主義を集中して勉強することができたので、とても役に立つ課題だったと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Contexts for Art		アートにおけるコンテキスト	
科目設置学部・研究科	Art & Design		
履修期間	Term 1 (2月中旬～5月中旬)		
単位数	6		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60(講義)+120(チュートリアル)分が各1回		
担当教授	Graham Forsyth		
授業内容	この授業では、シドニーの各地で展示されている様々なタイプの現代アート作品を実際に目にし、そのコンテキストを考えることで、特定のコンテキストと関係のある作品に従事することができるようになるための思考力を鍛えます。		
試験・課題など	レポート課題		
感想を自由記入	期末課題が Curatorial Brief を作成することだったので、そこで、キュレーターたちがどのような提案書を書いているのかを知ることができたのがとても勉強になりました。また、シドニーにある色々なギャラリーやパブリックアートに先生や他の学生と一緒に訪れたので、自分で調べずとも有名なギャラリーや作品がどこにあるのかを知ることができました。先生も非常に優しい方で、名前を覚えられるほどにメールで質問をしまくったのですが、いつでも素早く丁寧に反応して下さったことには今でも感謝しています。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
未定
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
入試がまだなため、アドバイスをできる立場ではありません。ただ、語学力試験は現地でも受けておくと、後々焦らなくてよくなるので、良いと思います。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。
進路に関する情報は、今後留学を考える方の情報として、本報告書の公開のみならず、国際教育センターや就職キャリア支援事務室の関連ホームページや冊子等、留学説明会において、匿名のデータとして公開することがありますので、ご了承下さい。なお、冊子やホームページに公開する前には皆さんに原稿の校正をお願いすることがありますのでご協力お願いいたします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2019年 1月～3月	

4月～7月	出願準備・出願
8月～9月	面接
10月～12月	ビザ申請・滞在先の確保
2020年 1月～3月	ガイダンス・出発・オリエンテーションウィーク・Term 1 開始
4月～7月	Term 2 開始・帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私の留学は2月から12月を予定していたのですが、残念ながら2020年は驚異的なパンデミックにより、7月の始めに帰国する決断をしました。そのため、上記の出費内容や航空チケットの値段は平均的なものではない、ということをご確認ください。

2月にTerm 1が始まり、3月には徐々に寮の人が減っていきましたが、それでも7月の帰国まで、毎日一緒にご飯を食べ、オンライン授業の休憩時間に一緒に話したり遊んだりする友達は数人残っていました。オフライン授業であろうとオンライン授業であろうと、私の交友関係は寮がメインになっていたと思います。寮のイベントが非常に多く、時間があるとコモンスペースに集まってみんなで円になって夜遅くまで雑談していたのは、留学期間の中でも一番楽しかった時間だったと、今になって思います。

そういう意味では、どの授業を受けるのか、どの大学を選ぶのか、ということよりも、精神面では寮の選択がとても重要だと思います。英語の添削含む勉強の手助けをしてくれるアカデミック・チューターがいるのは私が滞在していた寮のみだと聞いた時は、他の寮に住む留学生たちはどうしてるのだろうかという疑問に思ったほどに、私はアカデミック・チューターの方たちに大変お世話になりました。食事だけでなく、勉強面や衛生面なども気にして寮の選択をすることをお勧めします。

出願のための語学力試験の結果はIELTSの点数を使ったのですが、TOEFLが苦手な方はIELTSを受けてみるのはいかがでしょうか。私はTOEFLでは基準点までいきませんが、IELTSの測定方法は自分に合っていました。

最後に留学直前についてですが、オーストラリア英語に事前に触れておくことに越したことはありません。オーストラリア英語は他の英語に比べて、とにかくスピードが速く、独特の略語や発音が多数あるので、それらにある程度慣れておく、到着後の衝撃には耐えられると思います(笑)。

